

新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校中の生徒の皆さんへ (②)

2020年3月21日

校長 森野章二

そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。この希望は失望に終わることがありません。

(新約聖書 ローマ人への手紙 5章3節～5節 — 新改訳聖書)

23日からの一部活動再開を連絡して数日、行政の方針が変更され、再び休校期間が延長されることとなりました。生徒の皆さんは、連絡内容が二転三転し、混乱しているのではないのでしょうか。

この休校期間中、中三・高三の卒業礼拝式を縮小した形で実施し、他の学年の皆さんには、提出物や配布物の手渡し等のために時間差で登校する日を設けました。生徒の皆さんが登校する日は、元気な声があちらこちらで聞こえ、学校に活気が戻って、先生方にも嬉しそうな表情が見られました。やはり、生徒の皆さんがあってこそこの学校なのだ、と改めて感じさせられました。

23日からの活動再開連絡に、心躍らせていた人も多かったことと思います。私もたいへん残念です。しかし、今日本中が、いや、世界中が、このコロナウイルス感染症を封じ込めるために最大限の努力と忍耐を続けています。私たちもこの動きに協力をして、一日も早く日常を取り戻したいものです。

皆さん一人ひとりの心がけと注意が大切になります。不要不急の外出は控え、手洗いやうがいなど、感染防止対策に努めてください。一人の感染が、周囲に大きな影響を与えるのが感染症の怖さです。一人ひとりが感染予防対策を怠れば怠るほど、日常生活の回復は遠のいていくと言っても過言ではありません。引き続きしっかりと心がけてください。

本来であれば様々な活動に励んでいたはずの時期、閉じ込められたような状況を余儀なくされて、ストレスを抱えている人もいるかもしれません。冒頭の聖書箇所をもう一度かみしめてください。患難(困難)は忍耐を生み出し、忍耐は練られた品性を生み出し、練られた品性は希望を生み出すと約束されています。

50数年生きてきて、男性でも女性でも、どこか魅力的な人たち、この人のそばにいたいと感じさせる人たち、人格の深みを感じさせる人たちと出会ってきました。その人たちの多くは、大きな困難をくぐり抜けてきた人たちであり、悲しみを経験してきた人たちでした。「艱難汝を玉にす」のことわざ通りです。

聖書の約束は、更に進んで、困難によって生み出された品性が希望を生み出すと語り、その希望は失望に終わることがない、と教えます。悩みや困難の中にいる時にこそ、覚えておきたい真理です。

3月4日のメッセージで、この休校中に、宿題や課題ばかりではなく、日頃読めないような本にチャレンジしたり、家族の方と quality time を過ごしたりしてください、と勧めました。それ以外にも、今回のことを受けて、様々なオンライン教材も提供されています。先生方から、お薦めの講義動画を紹介されている教科もあります。学校が再開された時に備えて、自身の能力に磨きをかけておいてください。

大きく成長して、自信に溢れた皆さんの顔を見られることを楽しみにしています。

Hang in there!